

# ウェルウォーク通信

## ～十勝リハビリテーションセンター様の 先進リハビリテーション推進室による取り組み～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。  
今回は、十勝リハビリテーションセンター様の取り組みについてご紹介致します。

### 十勝リハビリテーションセンター（北海道 帯広市）

#### 【リハ科概要】

病床数：回復期 199床（脳血管疾患 約5割）  
療法士数：130名（PT 65名, OT 47名, ST 15名）  
※先進リハビリテーション推進室の専属：6名

#### 【ウェルウォーク WW-2000の運用状況】

導入時期：2022年10月  
実施人数：約110名（ロボット脚使用のみ）  
練習頻度：5～7回/週

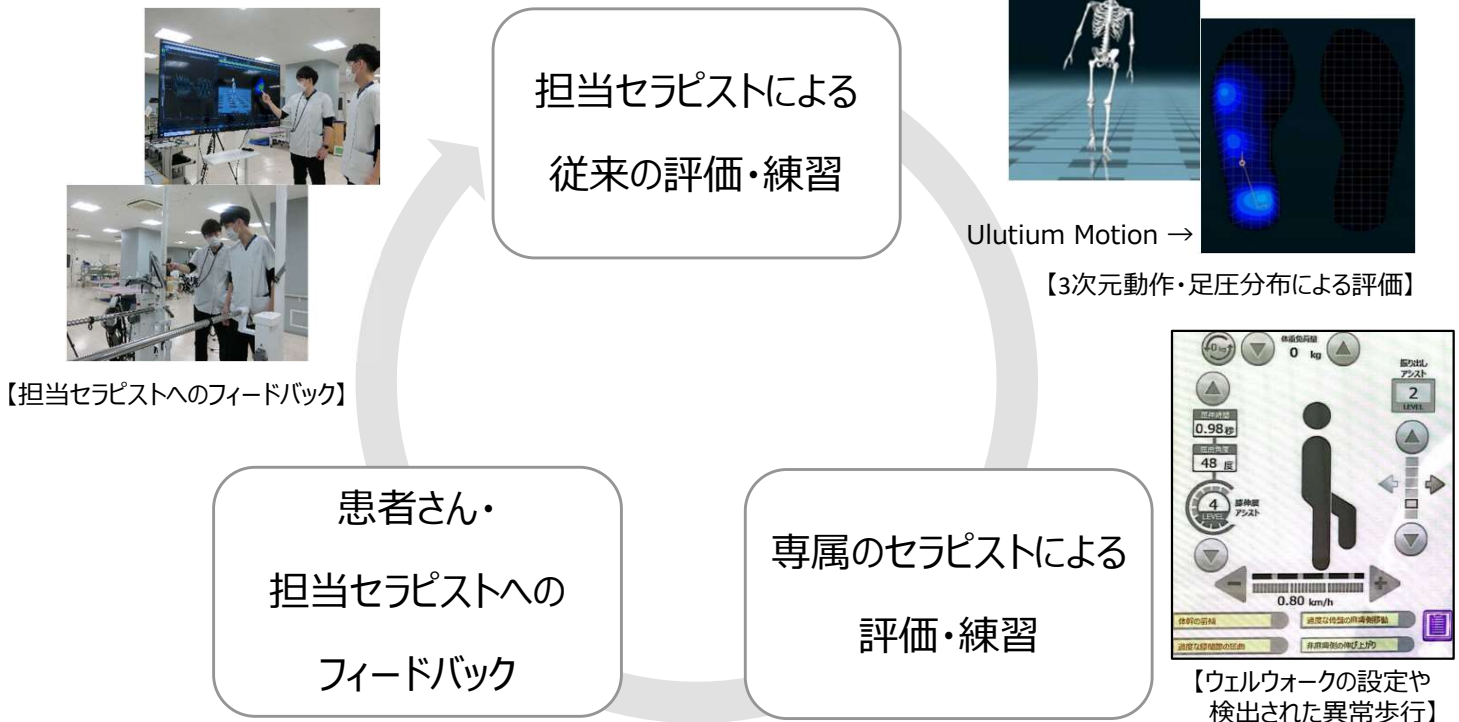
#### 【当院の特徴】

ウェルウォーク以外にC-Mill VR+, L300Go, NM-F1, HONDA歩行アシストなどの歩行練習機器や, Delsys, Ulutium Motionなどの表面筋電計, 3次元動作解析装置などの評価機器を導入している。



### 先進リハビリテーション推進室による取り組みの紹介

近年では脳科学の進歩や技術革新により様々なリハビリテーション機器が開発され、新たなリハビリテーションの可能性が生まれています。当院では「先進リハビリテーション推進室」を立ち上げ、最新のロボット・電気刺激装置を数多く取り揃えました。そして、専属のセラピストによる評価・練習を行うことにより、質の高いリハビリテーションの提供を目指しています。



## 先進リハビリテーション推進室によるウェルウォークの活用事例

### 初回評価 (0週)



膝ロッキング(+)

### ～ ウェルウォーク活用の流れ～

当院ではウェルウォーク練習2週間後に再評価 (FAC, 10m歩行テスト, 3次元動作解析など) を実施し, その結果より適宜練習方法を検討しています。特にウェルウォークのアシストを最低値にしても平地歩行やADLで問題がある場合には, 他の機能練習や二重課題練習に移行します。移行後にも再評価を行い, 練習方法を適宜検討をしています。

### ウェルウォーク練習

1日目



2週間後



- ・膝伸展アシスト : 4
- ・振り出しアシスト : 2
- ・矢状面, 前額面FB

- ・膝伸展アシスト : 1
- ・振り出しアシスト : 1
- ・前額面FB

2週間

### 再評価 (2週間後)

#### 再評価後の練習方法を選択

#### A ウェルウォーク練習継続

→ 股・膝関節の改善

#### B C-mill VR+ (二重課題)

→ 応用歩行練習

#### C 徒手での体幹練習など

→ 体幹・バランスの改善

#### D 機能的電気刺激

→ 足関節の改善



膝ロッキング改善



デュシェンヌ歩行(+)

2週間

ウェルウォークの前額面FBでは, 平地歩行の即時効果がみられないため, 即時効果がみられた徒手療法に移行。

### 再々評価 (4週間後)

#### ～ 練習方法の選定について～

当院ではウェルウォーク練習以外に従来の練習方法や, その他のロボットや電気刺激装置などの練習機器を併用して, 患者さんの歩行機能改善に向けて取り組んでおります。どの練習方法を選定するのかは, 練習目的や即時効果なども確認しながら決めております。当然患者さんには複数の問題点があると思いますので, 担当セラピストと情報共有を行い, 先進的な練習方法と従来の練習方法を組み合わせて, より良いリハビリテーションの提供を目指しています。



デュシェンヌ歩行改善

ご不明点、ご質問等ございましたら下記メールアドレスまでご連絡下さい。

WW 臨床・運用相談窓口<clinical-ww@mail.toyota.co.jp>